

第51回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	森本ゼミ	チーム名	薪焼きハンバーグが食べたい
タイトル	六甲大橋の交通渋滞緩和		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	森智哉、柴崎僚佑、中村光稀、原田彩帆、松井愛華		
研究計画内容	<p>(研究背景)</p> <p>皆さんが体育の授業や部活で六甲アイランドを利用するとき、バスに乗っていますね。結構時間がかかるイメージがあると思いますがそれは間違いではありません。六甲アイランドと本土をつなぐ橋は2本ありますが、1本は阪神高速につながる有料道路で、もう1本は皆さんがよく通る無料の橋です。この無料の橋が渋滞しているせいで橋を渡るのに本来よりも長い時間を要することになっています。では、なぜ無料の橋が渋滞しているのかというと、目的地は遠くないのでお金を払って高速道路を利用するよりも、多少時間がかかってでもお金を払いたくないと考える車が多いからです。さらに、無料の橋を降りた先の道路は2車線道路となっており、ほとんどの車が右折するにも関わらず右折レーンは1車線しかありません。そのため、右折する車の列ができてしまい、信号待ちと相まって渋滞が発生しています。これらの理由から無料の橋で渋滞が発生しています。このことから、私たちはどのようにしたら渋滞を解消できるのかを考え、研究していきました。</p> <p>(研究内容)</p> <p>今回は実際に現実問題として解決を考えていくということで、車線や橋を増設する方法ではなく、すでに現存するものの中から解決案を見つけ出していくことにしました。つぎに、問題となっている渋滞が改善されると人々にどれほどの便益があるのか調べました。これは実際に無料の橋を渡った車が降りてくる出口まで足を運び、その地点の交通量調査と実際に車を追跡し、目的地調査や所要時間の調査を行いました。これらの結果をもとに無料の橋でお金を使わず遠回りしている人の割合と、そこから渋滞が緩和されたあとの便益をまとめました。</p> <p>(期待される効果)</p> <p>今回の研究の議題である、六甲アイランドと本土をつなぐ2本の橋の交通量を調整し、渋滞を緩和することが期待されます。</p>		